

令和2年度 坂町議会『議員』の評価

評価期間

令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日

評価実施者

瀧野 純敏 年齢 82 才 議員経験年数 14 年

評価日

令和3年3月18日

評価の分類

◎:「よくできた」 ○:「できた」 △:「努力が必要」 ×:「殆どできなかった」

主要評価項目	評価	評価理由	課題
1. 議員活動の原則 1) 議会において、特に、言論を尊重し、自らの発言に責任を持ち、意見を述べたか。	○	一般質問も増やし、積極的に意見を述べた。	執行部との意見にずれがあった。
2) 町民全体の代表者としての責務を深く自覚し、自己の能力を高める活動を積極的にしたか。	○	町内視察も積極的に行い執行部との意見交換も行った。	今後は、町民との対話を尊重したい。
3) 個別的な事案の解決だけでなく、町民全体の生活の向上を目指して活動したか。	△	コロナの影響で災害被災者や、関連町民との対話がほとんどできなかった。	町・地域全体の動向を見極めたい。
2. 自由討議の拡大 町政の課題や議会改革の推進について、議員相互間の自由討議（質問、討論）により議論を尽くして合意形成に努めたか。	△	積極的に取り組んだが自身の力不足悔しい思いだが、もう少し頑張りたい。	議会改革に挑み、今後は積極的に議論を尽くし合意形成に努めたい。
3. 議会費および政務活動費 政務活動費の用途は適正かつ活動に有効に使われたか。また、議長に対して、証書類を添付した報告書を提出したか。	○	コロナのため、活動が制限されたが適正に使用し報告書は提出した。	今後も明確に公表し、適正に使いたい。
4. 選挙公約の評価	△	コロナにかこつけて自身の力不足を痛感した。積極的に取り組みたい。公約はあまり果たせなかった。	コロナ禍の中、弱者救済に努めたい。